

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 440

事務事業名	道路新設改良県営事業(負担金)	
-------	-----------------	--

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	児玉 隆行	内線	424

基本目標	050201	機能的で環境と調和したまち
政策		道路網の整備と公共交通の利便性の向上
施策		道路網の整備
関連施策		

会計	一般会計		
款	8	土木費	
項	2	道路橋りょう費	
目	3	道路新設改良費	
事業コード	020300	県営事業	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	当該道路利用者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	今後の人口増加と産業の集積、都市間及び市内移動に伴う交通量の増加に対応するため、当該道路の整備を進め、交通渋滞の緩和や安全で快適な生活環境を目指す。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市内の国道444号や主要地方道、一般県道の拡幅改良について、投資効果のある路線から重点的に行き、快適で効率的な都市基盤の形成を図る。 対象路線 一般国道444号 主要地方道(大村嬉野線、大村停車場線、大村貝津線、長崎空港線) 一般県道(松原停車場線、竹松停車場線、多良岳大村線)		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 其他

成果指標名	市内国県道の改良率(国道34号を除く)				算定式等	改良済延長/市内国県道延長=改良率
着手前現状値	平成 13 年度	単位	%	80.5		
完了後計画値	平成 28 年度			86.1		

【DO(実施)】

事業実施項目		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額	69,190	3,284	2,925	15,000	7,500	15,000		
	項目別進捗率								
実施設計	実績・計画額	21,750							
	項目別進捗率								
用地・補償	実績・計画額	4,350							
	項目別進捗率								
建設工事	実績・計画額								
	項目別進捗率								
事務費等	実績・計画額								
	項目別進捗率								
合計	実績・計画額	95,290	3,284	2,925	15,000	7,500	15,000	0	
	項目別進捗率								

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,760	3,284	2,925	15,000	7,500	15,000	0	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債	2,400	2,900	2,600	13,500	6,700	13,500		
その他								
一般財源	360	384	325	1,500	800	1,500		
② 人件費(千円)	884	831	866	519	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.11	0.11	0.12	0.07	県営事業 負担金 1式			
時間外勤務(時間)	5		10	5				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	3,644	4,115	3,791	15,519				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の 改善・改革の進捗等)	平成27年度は、国道444号の用地買収及び一部改良工事を行った。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地方道、一般県道等の幹線道路網の整備は、快適で効率的な都市基盤の形成を進める上で、必要不可欠な事業である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	国道444号や主要地方道、一般県道への改修に対する要望が行われており、早急な道路整備が必要である。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	幹線道路網の整備は、施策「道路網の整備」の一つの柱であり、交通の安全性や事故防止策として効果的な事業である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	県においてコスト削減に配慮しながら経済的な工事設計を実施している。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	国、県の要綱等により負担割合が定められている。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等に 対する取組など)	事業成果が上がっているため、このまま事業を継続したい。
効果 事業の改善・改革によって期待され る効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。